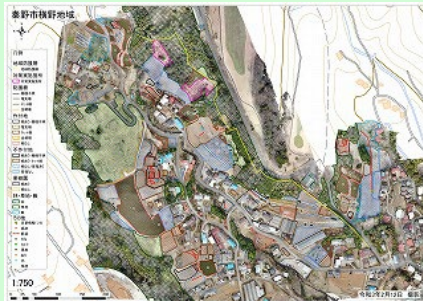


ドローンを活用した重点鳥獣対策（神奈川県秦野市）

- 3地域を秦野市鳥獣被害対策重点取組地域に選定し、地域ぐるみの鳥獣対策を推進
- ドローンを活用して被害対策地図を作成し、地域ごとの課題を可視化
- 被害対策地図を活用して地域の合意形成を図り、地域住民により被害対策を実施

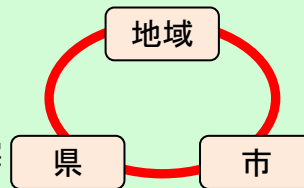
取組内容

- 市、県鳥獣被害対策支援センター、地域が役割分担し、地域ぐるみの鳥獣対策体制を構築。3組織を主軸に農協や自治会など地域全体での鳥獣対策を実施



被害対策地図の作成

各地域の鳥獣被害対策勉強会において、被害対策地図を活用し地域住民らと課題を共有し、対策を計画
地域ぐるみの鳥獣対策を実施し被害軽減を図る



鳥獣被害対策勉強会

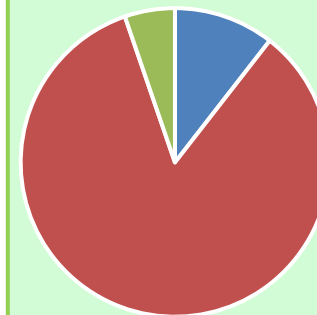


地域ぐるみの鳥獣対策の実施

成果

- 被害対策地図の活用が、課題の抽出や対策への合意形成に
- 地域ぐるみの取組により、地域全体の鳥獣被害対策への意識が向上

勉強会アンケート結果



- 大いに参考になった
- 参考になった
- あまり参考にならなかった
- 全く参考にならなかった

ドローンを活用した重点鳥獣対策(神奈川県秦野市)

きっかけ・背景

- 県が実施する他地域での地域ぐるみでの取り組みを参考に、市独自の重点対策取組地域を設定・拡大し、市内全域での被害減少を目指す

課題

- 行政頼みではなく地域住民が自分ごととして鳥獣対策に取り組んでいくよう行政が働きかける必要

Step1 被害対策地図作成 (R2)

- ドローンで空撮した画像に被害の現状や営農状況等を加えた被害対策地図を作成。課題を可視化

Step2 鳥獣被害対策勉強会 (R2)

- 市は、県鳥獣被害対策専門員に講師を依頼し、鳥獣被害対策勉強会を開催。被害対策地図を活用し今後の対策を計画

Step3 対策の実施 (R2)

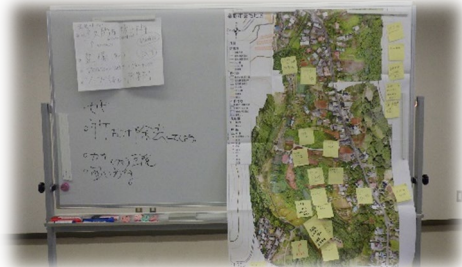
- 勉強会で計画した内容に基づき、放棄果樹の伐採・やぶの刈り払いや地域防護柵の補修、わなの設置など、地域の課題に応じた対策を地域主体で実施



ドローン空撮による現地調査



ドローン夜間飛行による出没調査(赤外線カメラ)



被害対策地図の活用



今後の対策を計画する様子



地域ぐるみの鳥獣被害対策の実践

取組の特色

- ドローンを活用し、集落における被害の現状、営農状況等を加えた被害対策地図を作成。人力による現地調査の省力化や、可視的な情報共有が可能となるほか、地域の課題を抽出するツールとして活用
- 地図の活用により、地域ごとの課題に合わせた対策を実施

取組による成果・効果

- 鳥獣被害対策勉強会を実施することで、正しい被害対策知識を地域に伝えるとともに、被害対策地図の活用により地域の課題を共有した結果、地域ぐるみでの対策実施が可能に

今後の取組

- 今後も計画的に取組地域を増やし、地域ぐるみの鳥獣被害対策を市内全域への拡大を企図